



No 2775

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗

有田

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日

ホームページ
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

テーマ  世界へのプレゼントになろう
 Be a gift to the world
 世界へのプレゼントになろう

クラブ  奉仕の理想車を走らせよう!!
 Let's drive your ideal car of the service!!

次回のお知らせ

- 平成28年4月7日 第2777回
- ・会員卓話：浅井 修一郎 君
「県政あれこれ」
 - ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

本日のプログラム

- 平成28年3月31日 第2776回
- ・外部卓話：渡辺 俊幸 氏 (有田市立病院 副院長)
「中高年のための泌尿器科学講座」
 - ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告 (第2775例会)

開催日 平成28年3月24日(木)

点鐘 (中元会長)

ゲストの紹介 (橋爪(誠)親睦活動委員長)

ゲスト:久保井 亮一 様 (大阪大学名誉教授)

会長の時間 (中元会長)

本日はロータリーの目的 (OBJECT OF ROTARY)についてお話ししたいと思います。

ロータリーの目的は、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」これが主文であります。「奉仕の理念」が「意義ある事業の基礎」ということは、ロータリーの目的が、やはり「職業奉仕」にその根幹があるということになるのでしょうか。確かに、初期のロータリアンが比較的小規模の会社の事業主や専門職種の人々中心であった時代には、「有益なビジネス・事業の基礎としての奉仕の理念」という認識であったかもしれません。しかし、現代ロータリーにおいては、職業奉仕だけではなく、社会奉仕や国際奉仕など、ロータリーのすべての奉仕部門を通じて、“Service”つまり「奉仕」という言葉を広い意味で使うようになってきました。したがって、現代のロータリーでは、この主文の「意義ある事業」とは、個人の職業においてのみならず、クラブやロータリー全体で行う「企画、事業」のことも示しているのではないのでしょうか。そして、このロータリーの「奉仕の理念」とは、自分のことだけではなく、他人や社会に対し、思いやりや善意を持って誠実に



尽くすことにあります。そうすることで初めて自分も幸せを手に入れることができるという考え方です。この考え方を広め、育てようというのがロータリーの目的なのだと思います。

では、どのようにこの「奉仕の理念」を広め、育てるのかを具体的な方法が、第1から第4の項目に書かれています。第1項には「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」と書かれています。これはロータリーの認知度を高め、知り合いの人にどんどんロータリー運動へ参加してもらおうという意味です。今年度、当クラブは4名の素晴らしい新会員が入会されました。引き続き、各会員が各分野で活躍されている友人、知人を紹介して頂きたいと考えております。また、この第1項は、「心の友を得て、持って奉仕の契機となすべきこと」と解釈されることもあります。ロータリークラブには、一人一業種の会員制と例会出席義務の二つが核となる基本的な原則があります。その一人一業種で選ばれた代表的な職業人が、その良質な思考と良質な心を持って週1回の例会に集まり、親睦を深めます。そして、心の友を得ると同時に奉仕の心を養い、世のため人のために尽くすということがロータリーの発想の原理です。このことが、「心の友を得て、奉仕の契機となすべきこと」にあたります。

第2項は「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」これは職業奉仕を示し、言い換えれば、世の中で役に立つ仕事はすべて価値があるから、各自の職業を社会に奉仕する場と考え、誇りと高い倫理観を持って仕事に励もう、ということになります。ポール・ハリスは、「社会に役立つ人間になる方法はいろいろあるが、間違いなく自分の職業の中にある。」と述べています。ロータリーが言う職業とは、他人や社会のために誠実に尽くすための最も根本的な活動であります。誠実に尽くすためには、自分の職業が倫理的にも

技術的にもより高い水準を保つ必要があります。その意味でも私達ロータリアンは、各自が毎週の例会において、奉仕の理念を研鑽し、職業倫理を高め合い、そしてその心を持って、日々の自分の職業に真摯に取り組むことが大切になってくるのではないのでしょうか。

以上、ロータリーの目的の主文と第1項、第2項について本日は考えてみました。時間の関係上、残りの第3項と第4項については、次週お話ししたいと思います。

幹事報告

(上野山(栄)幹事)

◎地区より

- ①2018-19年度ガバナー候補者推薦書提出のお願いが届く。4月25日必着
- ②「第34回RYLA研修セミナー」開催の案内
(社会青少年委員会へ)
- ③2015-16年度ロータリー財団補助金申請書類の再提出についての書類が届く。手続きしている
- ④識字率向上運動協賛願いが届く (社会青少年委員会へ)

◎福井ガバナーエレクトより

- ①2016-17年度のための地区協議会開催についての書類が届く。4月24日開催。4月1日までに出席者名簿提出。(松村会長エレクトへ)
- ②会長エレクト研修セミナーへの出席のお礼が届く

◎ロータリー米山記念奨学会より

- ①「ハイライトよねやま192」が届く
- ②特別寄付金明細書ファイル共有サービスについてのアンケートの収集結果、ファイル共有サービスマニュアル配信の知らせが届く (米山奨学委員会へ)

◎有田2000ロータリークラブより例会の案内。4月6日(水)19:00～ 橘家にて。ゲストは元大相撲の木村山(現 岩友親方)。出席希望者は本日中に事務局まで。

◎有田経済クラブより「クラブ通信308号」(後方掲示)

◎The Rotarian (回覧)

◎例会変更 (後方掲示)

委員会報告

*社会青少年奉仕委員会(酒井副委員長)
「識字率向上運動」への御協力をよろしくお願い致します。募集物は、日本円、書き損じハガキ、未使用の切手・テレフォンカードです。

*米山カウンセラー(橋爪(誠)カウンセラー)
3/21(祝)、2640地区米山記念奨学生終了式及び歓送会に中元会長と出席してきました。一年間携われたことに感謝です。本当にありがとうございました。

出席報告

(上野山(捷)例会運営委員)

本日の会員数27名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数19名
(出席規定免除会員8名)
73.08%
3/3 88.46%
MU:なし

ニコニコ箱の報告

(中村SAA)

中元君:久保井先生、本日の卓話よろしくお願ひいたします。先週は地区のクラブ職業奉仕委員長会議、米山奨学生の終了式に参加してきました。

上野山(栄)君:大阪大学名誉教授、久保井亮一様、ようこそ有田RCにお越しいただきありがとうございます。卓話を楽しみにさせていただきます。

脇村君:久保井君、本日は遠いところお越しいただきありがとうございます。よろしくお願ひします。

石垣君:久保井先生、お忙し中、卓話にお越しいただき有難うございます。

上野山(英)君:阪大名誉教授 久保井先生、本日卓話にお越し頂き有難うございます。

児島君:久保井教授、卓話拝聴させて頂きます。

橋爪(誠)君:久保井亮一様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話勉強させて頂きます。

上野山(捷)君:久保井亮一様、遠いところ、ようこそお越し下さいましてありがとうございます。

岩橋君:久保井先生、卓話よろしくお願ひします。

酒井君:久保井先生、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

岩本君:久保井先生の卓話楽しみにしています。

松村君:久保井教授、卓話楽しみにしています。

中村君:久保井先生、ようこそ有田RCへお越し下さいました。卓話よろしくお願ひいたします。

卓話

グローバルリーダー:パイオニア・歴史に学ぶ ESDの薦め
「受身の“ストレス応答”から
自発能動の“挑戦と応戦”へ」



久保井 亮一 氏
大阪大学名誉教授

バイオメンブレン研究所長
-SF-大阪クラブ/大阪シャペロン

1. ESD (持続発展教育: Education for Sustainable Development) :「三方よし」経営？

“非常に日本的と思われる近江商人の「三方よし」の考え方は、今や世界企業の生き残りを懸けた社会貢献(CSR)活動や、地球社会の持続可能性を目指すユネスコ・ESDの源流(拠って立つ基盤)とも見なされるようになってきた。阿倍野ハルカスでのボランティア活動「縁活」もその流れを汲んでいる。”(縁活新聞-天声にゃん語-久保井)

⇒自分自身の(幸福の?会社の/組織の/家庭の?)持続(発展)可能性のために?
⇒今?ここで? 私は 何をすればよいのだろうか?
“Think Critically, Discuss Creatively!”

2. 明治維新前夜(1841-1867) ジョン万次郎:“ウェルカム・ストレス&ストレッサー!”

～ジョン(中濱)万次郎(John Mung)、咸臨丸そしてサンフランシスコ(SF)

中濱萬次郎の世界7回り半の大冒険 ⇒明治維新へ 自由民権運動の源流へ

(土佐)教授館/河田小龍:後藤象二郎・板垣退助・岩崎弥太郎・・・(坂本竜馬)

ホイットフィールド船長-島津斉彬-山内容堂・安部正弘・河田・江川・・・

普通の日本の若者の米国東部名門校留学第1期生!が成し遂げたこと?・・・SF 49ners!?

時代の要請? / セレンディピティ / プリペアードマインド?・・・自主自立-主体性教育

社会のための教育? / 教育のための社会? ⇒ 持続可能な地球社会開拓のための共育～ESD!

*14歳の初漁で遭難(1841)～捕鯨船(ハウランド号)による大航海を経て米国東海岸フェア～ヘイブンでの勉強(バートレットアカデミー入学-主席卒業:1844)、フランクリン号による南太平洋捕鯨大航海(一等航海士:各寄港地での情報収集～1848)東海岸帰港～SFゴールドラッシュ(大陸横断鉄道、1849)、米国から決死の帰国(1851)～薩摩藩島津斉彬、国際教育・日米和親条約への貢献(1859)、咸臨丸SF渡航:日米修好通商条約遣米使節団(1860)、(南北戦争1861)、小笠原諸島へ、幕府・薩摩/土佐藩開成所(1867)
⇒ジョンマンジロウ・ホイットフィールド記念国際草の根交流センター

3. What are you doing for others? :バイオメンブレン・シャペロンタンパク質に学ぶ?

安定な社会・環境:江戸(強い力が支配)⇔ 多様性社会:明治(多様な弱い力が相乗的に作用)

東北人・ボランティアは、何故 未曾有の災害・ストレスにも負けないのか?

飛び出す人 / 社会貢献の人 / 挑戦する人、応援団 / 分子シャペロンは、何故 元気なのか?

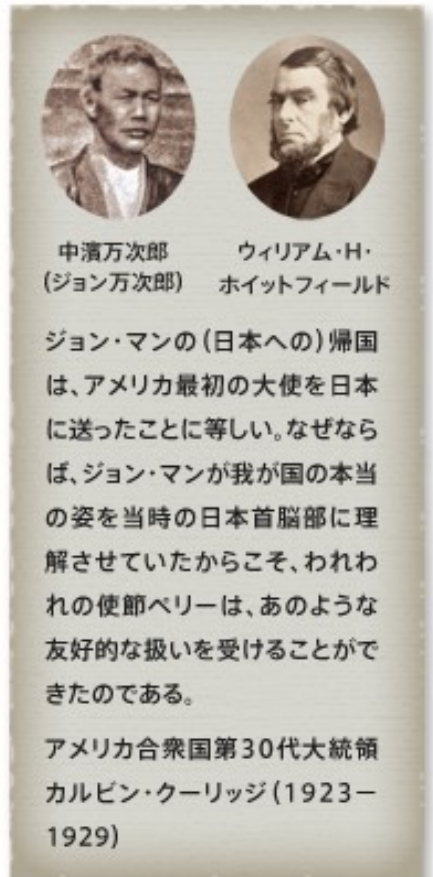
・ドーパミンとシャペロンタンパク質、そしてメンブランシッパ(身体性)

ジョン万次郎とホイットフィールド船長の友情が築いた「草の根交流」の原点

1841年、遭難して太平洋の孤島に漂着した5人の日本人漁師が、アメリカの捕鯨船によって助けられました。その中に、万次郎という14歳の少年がいました。聡明で気立てのよい万次郎は、すぐにアメリカ人の乗組員たちの間で人気者になりました。万次郎は彼らから「ジョン・マン」というニックネームをもらい、彼らと一緒にマサチューセッツ州のフェアヘイブンに渡りアメリカの教育を受けました。万次郎は捕鯨船の船長だったウィリアム・H・ホイットフィールド船長に世話をしてもらいながら、英語や科学や航海術を学んだだけでなく、自由、民主主義、寛容の精神等、アメリカの文化・価値観を学びました。

当時、日本は徳川幕府の政権下で鎖国体制を敷いており、国外へ出ることは死刑に値する重罪でした。しかし万次郎は、ホイットフィールド船長やフェアヘイブンでの生活を通して享受したアメリカの文明と精神を日本に伝えたい、という熱い思いから、10年間のアメリカ生活の後、日本への帰国を決意しました。万次郎が帰国して間もなく、ペリー提督が来航し開国を要求、鎖国時代は終焉を迎えました。この時、万次郎は、日本の開国及びその後のアメリカ技術文化の紹介に重要な役割を果たしました。

170年以上経った今なお、ジョン万次郎とホイットフィールド船長の友情は、その子孫の代まで引き継がれています。毎年ホイットフィールド船長と中濱家は、CIEが主催する草の根交流サミット大会で、草の根交流の可能性と意義の大きさを私たちに伝え続けています。



閉会・点鐘 (中元会長)